

<金標準、相互関税の不確実性が高く戻りが抑えられる・・・>



(出所：オアシス)

経済協力開発機構（OECD）はアメリカのトランプ政権による関税措置の影響を踏まえ、ことしの世界の経済成長率をこれまでより 0.2 ポイント引き下げている。また FOMC でも FF レート誘導目標を 2 回連続で据え置き、パウエル FRB 議長はトランプ大統領による大幅な政策変更に伴い不確実性が高まっていることを認め、「インフレ率は上昇し始めている」とし、「関税に反応している部分もあると考えられる。年内のさらなる進展に遅れが生じる可能性がある」と言及している。特に中東ではイスラエル軍がガザ地区の攻撃を再開し、地政学的なリスクの高まりも重なるなど、逃避の手段で金が注目され NY 金は先週木曜日から 6 日間連続で史上最高値を更新している。しかし週末はダウ平均が 4 月 2 日に発動される相互関税に向けたリスク逃避を強めるなど、金価格も高値から下げだし一時 3004 ドルまで下値を試し利益確定の動きを見せている。金標準先物も 3 日間高値が止まり、リスク逃避に伴う静観ムードが強まると思え、14300 円に向けた値動きに注意が必要と思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD の上昇が止まり、シグナルは上昇している。RCI では短期が高値で止まり、長期は上昇している。特に日足が 10 日移動平均線や 40 日移動平均線から乖離しており、14300 円へ向けた戻りに注意したいと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,090,000 円(2025 年 3 月 24 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2025 年 3 月 24 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>